

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年3月15日

事業所名 エント上福岡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	40%	60%		
	2	職員の配置数は適切である	20%	80%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	20%	80%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	80%	20%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	40%	60%		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	80%	20%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%		

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	100%			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	40%	60%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	20%	80%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	60%	40%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	80%	20%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		100%		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	40%	60%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	100%			
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	20%	80%		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	100%			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	100%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	60%	40%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	100%			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	60%	40%		
	35	個人情報に十分注意している	60%	40%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	20%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	20%	80%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			